



# 週間情報



No.0346(1月4日休刊)

発行日 令和3年12月28日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

## 消防本部の動き

### 行事

#### ◆ 大規模な商業施設に対する消防長特別査察を実施

駿東伊豆消防本部（静岡）

駿東伊豆消防本部では、令和3年12月13日（月）、多数の人の出入りが予想される大規模な百貨店等のうち、静岡県東部地域で最大規模である三井ショッピングパークららぽーと沼津において、消防長特別査察を実施しました。

この特別査察では、消防用設備等の維持管理状況や、喫煙等の火気管理状況を重点項目として確認し、防火対策に係る注意喚起を行ったところです。

関係者からは、「従業員には、常に避難通路幅の確保や防火戸などの維持管理について注意喚起している。特に、繁忙期は商品を多く扱うため、より一層の指導を徹底したい。」との声が聞かれました。

今後も、住民の安全・安心のため、随時、特別査察を実施してまいります。



【特別査察の様子】

## 訓練・演習

### ◆ 近畿府県合同防災訓練・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練を開催

神戸市消防局（兵庫）

神戸市消防局では、令和3年12月4日（土）、5日（日）の2日間、県内各地において開催された「令和3年度近畿府県合同防災訓練・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練」の訓練準備室を昨年10月から警防課内に設置し、県内地域代表消防本部から職員を派遣いただき、計画の立案や兵庫県との調整等を実施してきました。

両日は、兵庫県淡路島を震源とする大規模地震で甚大な被害の発生を想定し、緊急消防援助隊として、近畿2府7県及び隣接する岡山県から合わせて陸上部隊180隊800人、消防艇3艇20人、航空機8機40人が参加したほかに、自衛隊、海上保安庁、警察などの合計200機関1800人が参加しました。淡路市のメイン会場では、齋藤元彦兵庫県知事、内藤尚志消防庁長官、清水洋文全国消防長会会長の視察訓示を受けました。

4日は災害対策本部と被災地指揮本部などの4つの拠点を連動させたブラインド型の図上訓練を行い、5日は淡路市、洲本市、三木市の各会場でブラインド型の実動訓練を行いました。

それぞれの訓練では、倒壊建物、土砂災害、列車事故、街区火災、洋上船舶火災など、さまざまな災害現場を想定し、各機関が連携した対応を実施しました。

また、本訓練に併せて神戸市の自主防災組織である防災福祉コミュニティを中心とした避難所開設や救護所運営を実施するなど、各会場で有意義な訓練が行われました。



【訓練の様子】

### ◆ 多数傷病者対応実動訓練を実施

東山梨消防本部（山梨）

東山梨消防本部では、令和3年12月7日（火）、8日（水）の2日間、交通事故による多数傷病者対応実動訓練を実施しました。

訓練は、両日もブラインド形式により、1日目に管内の甲州市役所で所有しているバスを借用したバス事故を、2日目に自動車の多重衝突事故をそれぞれ想定しました。短時間でのトリアージ、重傷者に対する応急処置や医療機関への搬送、指揮命令システムを確認するとともに、出場隊間の連携強化を図ることができました。今後も、交通事故をはじめとする多数の傷病者が発生する災害において迅速に対応できるよう、他機関との連携や協力を得ながら訓練を重ねてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 国際消防救助隊連携訓練（千葉市会場）を実施

千葉市消防局（千葉）

千葉市消防局では、令和3年12月7日（火）から9日（木）までの3日間、千葉市消防学校において、40消防本部から40名の国際消防救助隊員が集結し連携訓練を実施しました。

これは、医療班・構造評価専門家班の隊員を動員し、4つの実災害を想定して専門的な視点を含めた連携訓練を実施したものです。

国際消防救助隊員としての臨機応変かつ迅速な対応を強化するとともに、参加隊員のより高度な知識・技術の向上を図ることができました。

今後も、多種多様な災害に対応できるよう各種訓練を実施し、各消防本部及び関係機関と相互連携した救助活動能力の強化に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練終了後の記念撮影】

## ◆ 西三河地区合同訓練を実施

豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部では、令和3年12月9日（木）、豊田市足助消防署の大規模訓練施設において、西三河地区の岡崎市消防本部、西尾市消防本部、幸田町消防本部及び衣浦東部広域連合消防局と合同訓練を実施しました。

この訓練は、相互応援協定に基づく協力体制の強化を目的として平成26年度から始まり、今年度で7回目となりました。

当日は、大規模な交通事故により複数の要救助者が発生したという想定で、訓練を実施しました。

訓練を通じて、西三河地区の連携強化を図るとともに、応援要請体制を確認することができました。



【訓練の様子】

◆ 福岡地区の消防本部が参加する消防法第5条の3吏員措置命令シミュレーション合同訓練を実施

筑紫野太宰府消防組合消防本部（福岡）

筑紫野太宰府消防組合消防本部では、令和3年11月17日（水）、29日（月）、12月9日（木）の3日間、福岡地区の消防本部から査察員66名が集合し、消防法第5条の3吏員措置命令シミュレーション合同訓練を実施しました。

この訓練は、大型商業施設等における避難口前の物件除去について、消防法第5条の3の規定に基づく措置命令を通じて職員の査察技術の向上を図り、消防法令違反に対して適正な行政指導を行う目的で実施したものです。近隣消防本部の職員については、昨年度までは聴講者として参加案内しておりましたが、今年度からは訓練に参加していただくこととしました。これにより、知識・技術の研さんに励むことができたほか、実務上の課題や各消防本部の取り組みを相互に共有することができました。

今後も、福岡県の違反是正都道府県アドバイザー本部として、発展的かつ持続可能な研修会を追求し、地区を含めた職員の知識・技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 東三河地区消防合同訓練を実施

新城市消防本部（愛知）

新城市消防本部では、令和3年12月10日（金）、新城市消防防災センターにおいて、東三河地区消防合同訓練を実施しました。

これは、東三河地区消防署長連絡会（豊橋市・豊川市・蒲郡市・田原市・新城市）における相互連携の向上を目的とし、高気密建物火災をテーマとして消防合同訓練を実施したものです。

訓練後には、パネルディスカッションを行い、各消防本部における火災の戦術、活動技術、安全管理体制などの取り組みについて情報を共有し理解を深めました。

今後も、相互連携した活動が行えるよう、さらなる体制の強化に努めてまいります。



【訓練の様子】



【パネルディスカッションの様子】

◆ 電話で命をつなぐ口頭指導を学ぶS-EDGEコースに参加

泉州南消防組合泉州南広域消防本部（大阪）

泉州南消防組合泉州南広域消防本部では、令和3年12月10日（金）、電話で命をつなぐ口頭指導を学ぶS-EDGEコース（泉州通信指令員救急教育コース：Senshu Emergency Dispatcher Grow and Evolveコース）に参加しました。

これは、泉州地域MC協議会が主催するもので、同協議会に参画する6消防本部（岸和田市・泉大津市・貝塚市・和泉市・忠岡町・泉州南広域）の通信指令員が、心理学や医学的知識を交えた講義、通報音声を用いた検証、119通報対応訓練を通して口頭指導を学ぶものです。

119通報対応訓練では、応急手当の経験のない一般の方に通報者役として参加していただき、実際の救急要請さながらの臨場感ある通報が行われ、受講者は非常に質の高い訓練を受けることができました。また、訓練後は通報者の様子を記録動画で確認しながら口頭指導により通報者がどのような応急手当を行ったかを検証するなど、効果的な振り返りも行われました。

今後も、地域の救命率向上を目指してまいります。



【S-EDGEコースの様子】

◆ 日本ライフセービング協会主催の「第6回JLAシミュレーション審査会」に協力

下田消防本部（静岡）

下田消防本部では、令和3年12月11日（土）、日本ライフセービング協会が主催する「第6回JLAシミュレーション審査会」に協力しました。

この審査会は、海水浴場で起こる事故を想定し、ライフセーバーの救助救命技術の向上と公的機関との連携強化を図る目的で実施しているもので、静岡県内のライフセービングクラブ9団体が参加しました。

当日は、ライフセーバーから傷病者を引き継ぎ、連携して処置や搬送を行う救急隊エキストラ役3名と、適切な観察や救急隊への引き継ぎが行われているかなどを評価する審査員1名の合計4名が協力しました。

当消防本部では、多くの海水浴場を管轄しており、ライフセーバーとの連携は必要不可欠です。今回は、多くのライフセーバーと合同訓練が実施でき、大変有意義なものとなりました。

今後も、合同訓練等を重ね、円滑な現場活動が実施できるよう努めてまいります。



【審査会の様子】

◆ 多数傷病者の発生を想定したシミュレーション訓練を実施

郡山地方広域消防組合消防本部（福島）

郡山地方広域消防組合消防本部では、令和3年12月13日（月）、消防本部庁舎において、郡山消防署管内の救急隊長を対象に、多数傷病者の発生を想定したシミュレーション訓練を実施しました。

この訓練は、車3台が絡む交通事故により、合計10人が負傷したとの想定で、指導救命士などが講師となり、先着隊として現場に到着した際の対応や、トリアージの実施方法について学びました。

訓練中は、指導救命士などからフィードバックを受けるとともに、訓練参加者からも活発な意見が出て、さらなる知識・技術の向上を図ることができました。

引き続き、あらゆる災害を想定した訓練を継続して行い、現場対応力の強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 警防練成会を実施

箕面市消防本部（大阪）

箕面市消防本部では、令和3年12月13日（月）、警防練成会を実施しました。

この練成会は、「耐火建物から出火し2階開口部から火炎噴出、2階に逃げ遅れあり」との想定で、消防隊が消火活動及び救助活動を行い、その迅速性、確実性を競い合ったものです。

各隊長の指揮のもと、隊員は日頃の訓練成果を遺憾なく発揮し、大変有意義な練成会となりました。

今後も、現場活動能力の向上を図り、住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【警防練成会の様子】

## ◆ 非常招集訓練を実施

尼崎市消防局（兵庫）

尼崎市消防局では、年末火災特別警戒期間中の令和3年12月13日（月）午前5時30分、全消防職員を対象に、各所属へ参集する非常招集訓練を実施しました。

この訓練は、大規模災害時等において早期の消防体制を確立するための非常招集を抜き打ちで発令したもので、事前に決めている電話連絡網等により情報を伝達し、連絡を受けた職員は所属する各消防署等に参集しました。

また、非常招集訓練発令後、「尼崎市記念公園に集結せよ。」との訓練指令を発令し、消防車両計22台82名が指定場所に集結しました。



【訓練の様子】

## ◆ 多数傷病者対応訓練を実施

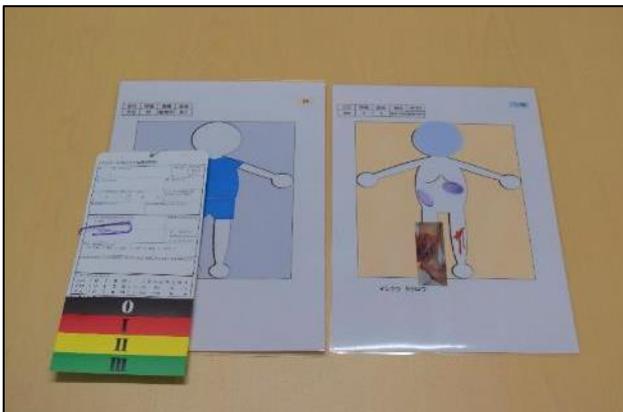
館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合では、令和3年12月13日（月）、14日（火）の2日間、多数傷病者対応訓練を実施しました。

この訓練は、各隊員の活動能力向上と各部隊間の連携強化を図る目的で実施したもので、また当消防組合の局地災害対応マニュアルの検証も兼ねました。

当日は、大型バスと普通乗用車の交通事故という想定で、傷病者の情報や容態を記載したカードを傷病者に見立て、指揮本部と救護所責任者がスマートフォンを使用して傷病者情報の共有を行い、搬送の順位付けや1次トリアージ集計方法等を再確認しました。

今後も、さまざまな災害事案に対応できるよう、訓練を継続して実施し、さらなる災害活動能力の向上に努めてまいります。



【傷病者の情報や容態を記載したカードとトリアージシート】



【訓練の様子】

## ◆ I R T 消防長査閲を実施

朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部（埼玉）

朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部では、令和3年12月15日（水）、国際消防救助隊登録隊員による消防長査閲を実施しました。

この査閲は、登録隊員が積み上げてきた訓練成果を披露するために毎年実施しているものです。

当日は、諸外国において大規模な地震が発生し、座屈半壊した建物に要救助者が1名いるという想定で、ダイヤモンドチェーンソーを活用した梁破壊及び狭隘空間での救出を実施しました。

今後も、諸外国の大規模災害による派遣に備え、現地での円滑な活動が行えるよう研さんしてまいります。



【梁破壊の様子】



【狭隘空間での救出訓練の様子】

## 研 修 等

### ◆ 消防車両安全運転実技研修を実施

江別市消防本部（北海道）

江別市消防本部では、令和3年12月6日（月）、7日（火）の2日間、市内にある杜の美江別自動車学校のご協力のもと、両日で延べ40名が参加し、消防車両安全運転実技研修を実施しました。

この研修は、これから迎える降雪期を前に、消防車両の運転技術の向上と安全運転の基本を再確認することを目的として実施したものです。

研修では、自動車学校の検定員が消防車両の助手席に同乗していただき敷地内のコースを走行することで、自動車免許取得時と同様に、専門家の目線から指導を受けることができました。

また、大型自動車免許未保有者には、今後の機関員養成の観点から、自動車学校の中型車両を借用して同様に研修を実施しました。

自身の運転技術を把握することができ、今後の安全運転につながる有意義な研修となりました。



【研修の様子】

## ◆ 消防職向け手話講習会を実施



【講習会の様子】

### 奈良市消防局（奈良）

奈良市消防局では、令和3年12月14日（火）、15日（水）の2日間、奈良県聴覚障害者協会から講師を招き、消防職向け手話講習会を実施しました。

講習会では、聴覚に障害のある方の心理、コミュニケーションの方法、災害現場を想定した対応方法などについて学びました。

この講習会を通じて、聴覚に障害をお持ちの方が普段抱えている苦悩や不安について知ることができ、聴覚に障害のある方だけでなくさまざまな人の目線に立った応接や消防活動の重要性を再認識する良い機会となりました。

## ◆ 自己啓発セミナーを実施

### 山形市消防本部（山形）

山形市消防本部では、令和3年12月13日（月）から17日（金）までの5日間、株式会社タフ・ジャパンから講師を招き、自己啓発セミナーを実施しました。

本セミナーでは、全職員が同じ目的意識を持ち、同時期に一斉に受講することで共通の課題を認識し、一丸となって解決に向けて取り組んでいくことが重要であることから、現場職員の隊編成等を事前に調整し、職員一人一人が丸一日の研修プログラムを受講できるようにしました。階級や職位にとらわれず、グループワークや実技を通してコミュニケーションを図りながら多くの事を学ぶことができ、大変有意義なセミナーとなりました。

時代に合わせた組織の在り方や職務におけるメンタルコントロールのノウハウについての理解や知識を深めたことにより、今後も職員一丸となって地域住民の安全・安心を守るよう努めてまいります。



【セミナーの様子】

## ◆ メンタルヘルス研修を実施

### 高山市消防本部（岐阜）

高山市消防本部では、令和3年12月17日（金）、消防庁緊急時メンタルヘルスサポートチームの牧田潔教授（愛知学院大学）を招き、管理監督的立場の職員を対象としたメンタルヘルス研修を実施しました。

昨年引き続き2回目の開催となる今回は、講義では職場におけるメンタルヘルスの現状、管理監督者の役割、段階的な予防策、メンタルヘルスカケアを学び、グループワークでは具体的事例を用いて管理監督者としての対応策のポイントを共有しました。

今後、職場環境の改善や職員のワークエンゲージメント（仕事に対するポジティブで充実した心理状態）が高まる取り組みへと展開し、より一層市民の期待に応えられる消防組織となるよう努めてまいります。



【研修の様子】

## ◆ 消防職員研修会を開催

### 湖西市消防本部（静岡）

湖西市消防本部では、令和3年12月13日（月）、14日（火）の2日間、中部電力パワーグリッド株式会社浜松営業所新居サービスステーションの野村昌美所長を講師として招き、「電気に係る災害活動時等における安全対策について」の研修会を開催しました。

この研修会は、消防職員として必要な知識・技術を習得させ、消防人としての資質の向上を図ることを目的として昨年度に引き続き開催したもので、勤務場所からのリモート参加を含め両日合計67名の消防職員が参加しました。

研修会では、配電設備の概要や感電のメカニズム等についての講義をいただき、消火活動時や救助活動時における安全対策などを再認識することができました。

また、職員からの質問事項にも分かりやすく答えていただき、とても有意義な研修となりました。

今後も、安全・確実・迅速な現場活動が実施できるよう訓練や研修を重ね、安全・安心なまちづくりに取り組んでまいります。



【研修会の様子】

## その他

### ◆ 消防協力者への感謝状贈呈式を実施

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部（静岡）

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部では、令和3年12月11日（土）、消防協力者に対して感謝状の贈呈式を実施しました。

本事案は、令和3年10月10日（日）、袋井市内で発生した建物火災において、建物内の住宅用火災警報器の警報音に気付いた近隣住民3名が協力連携し、消防隊が現場到着する前に初期消火と119番通報を行うとともに逃げ遅れた男性1名を建物内から救出したものです。

3名の連携活動は、初期火災対応の3原則である「初期通報、初期消火、避難」のお手本となる行動であり、救出された居住者に怪我等はなく、建物への火災被害を最小限にとどめることができました。

人命救助及び初期消火が遅れていれば付近住民への被害拡大が危惧されたもので、迅速かつ的確な判断で消防活動に当たられた3名の功績を称え、消防長から感謝状を贈呈しました。



【感謝状贈呈式後の記念撮影】

### ◆ 「火災調査指導員・火災調査主任認定制度」を発足！

前橋市消防局（群馬）

前橋市消防局では、このたび「火災調査指導員・火災調査主任認定制度」をスタートし、令和3年12月14日（火）に認定証交付式を行いました。

交付式では、火災調査指導員10名、火災調査主任39名の職員を認定し、消防局長から認定証を授与しました。

この制度は、近年の社会生活の変革や各種生活製品等の著しい技術革新により、火災原因の特定により高度な知識と技術が必要となってきているため、これに対応できるよう、「火災調査のスペシャリストの育成」と「現場調査員の技術のさらなる向上」を目的に立ち上げたもので、県内消防でも初めての制度となります。

本制度の設立を契機に、安全・安心なまちづくりのため、火災調査をはじめ、火災予防業務に対し一層の研さんを重ねてまいります。



【認定証交付式後の記念撮影】



【腕章 左：火災調査主任・  
右：火災調査指導員】

◆ 少年消防クラブ員が消防協力者として消防長表彰を受賞

平塚市消防本部（神奈川）

平塚市消防本部では、令和3年12月18日（土）、消防協力者に対し、消防長表彰を行いました。

本事案は、令和3年8月8日（日）、市内の公園で発生した火災において、地域の見回り活動を行っていた親子（子どもは少年消防クラブ員）と、その親子の近所に住む女性の計3名が火災を発見し、協力して初期消火、119番通報を行ったものです。

3名は、日ごろから防火・防災意識が非常に高く、本事案においても、発見、初期消火、通報に至るまでの役割分担が迅速かつ的確に行われた素晴らしい活動により、被害を最小限に留めることができました。

少年消防クラブ員の濱野紗綾花さんは、「クラブ活動で体験した消火器の取り扱いや119番通報の仕方が役に立ちました。」と喜んでいました。



【表彰後の記念撮影】

◆ 防災リーダーにハンドブック&カードを配布！

大津市消防局（滋賀）

大津市消防局では、令和3年12月11日（土）、市内で活動されている防災リーダーにリーダーハンドブックとリーダーカードを配布しました。

このハンドブックとカードは、災害に強いまちづくりの推進と地域防災力の向上を目的として、地域等において指導的立場で活動されている防災士約730人と消防団員約490人を対象に配布したものです。

内容は、「指導者の心構え」や「安全管理の基礎知識」、「消火・救助活動要領」などで、地域での訓練等で役立ててもらうため、ハンドブックも携帯が可能なポケットサイズにしました。

今後も、自主防災活動を支援するとともに市民の安心・安全確保に努めてまいります。



【リーダーハンドブックの表紙】



【リーダーカードとリーダーハンドブック】

## 国等の動き

### 消防庁通知等

#### ◆ 新型コロナウイルス感染症対策の消防庁対処方針

(令和2年3月28日、令和2年4月7日改正、令和2年5月25日改正、令和3年1月7日改正、令和3年2月12日改正、令和3年9月30日改正、令和3年12月15日改正)

新型コロナウイルス感染症対策について、本日策定された政府の基本的対処方針（基本的対処方針）及び新型コロナウイルス感染症対策の総務省対処方針（総務省対処方針）を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策の消防庁対処方針（消防庁対処方針）を策定する。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/211215kyuuki.pdf>) に掲載されています。

### 報道発表

#### ◆ 「消防団員入団促進キャンペーン」の実施

(令和3年12月14日、消防庁)

総務省消防庁では、例年、1月から3月までの間を「消防団員入団促進キャンペーン」期間と位置付け、全国の地方公共団体等と連携し、消防団への入団促進に係る広報の全国的な展開を図っています。

今年度も、令和4年1月から3月までの同キャンペーン期間において、以下の取組を実施します。

なお、各種広報ツールには、消防団入団促進サポーターとして、お笑いコンビの「和牛」さんをメインキャラクターに、「すゑひろがりず」さん、「インディアンズ」さん、「オズワルド」さんをサブキャラクターに起用し、若者を中心とした入団促進を図ります。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/211214\\_chibou\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/211214_chibou_1.pdf)) に掲載されています。

#### 【連絡先】

総務省消防庁国民保護・防災部地域防災室  
藤ノ木理事官、青野係長、亀池事務官  
TEL：03-5253-7561 FAX：03-5253-7576  
E-mail：[syobodan@ml.soumu.go.jp](mailto:syobodan@ml.soumu.go.jp)

#### ◆ 大阪市北区のビル火災を受けた緊急立入検査について

(令和3年12月19日、消防庁)

令和3年12月17日に大阪市北区で発生したビル火災を受け、総務省消防庁から全国の消防本部に対し、今回の火災建物と類似の階段が一つしか設置されていない雑居ビルを対象に、火災時の避難経路等について緊急立入検査の実施を別紙のとおり要請しました。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/64703d7089b0fde7e2bfc4a2ae5bbc06b7b01e9d.pdf>) に掲載されています。

#### 【問い合わせ先】

消防庁予防課 千葉設備専門官、金子違反処理対策官  
TEL：03-5253-7523（直通） FAX：03-5253-7533

## 機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

- ① トップ・セカンド記事
- ② 知識・技術の伝承—教えて！消防技術—
- ③ 女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0314）1ページ、機関誌「ほのお」2021年4号（4/25発刊）25ページ又は5号（5/25発刊）30ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 菅原  
原稿データは、[kikachosei@fcaj.gr.jp](mailto:kikachosei@fcaj.gr.jp)に送信願います。

### ④消防ワイド

- ・文章は、Wordで150文字以内で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 菅原  
原稿データは、[honoo@ffaj-shobo.or.jp](mailto:honoo@ffaj-shobo.or.jp)に送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

## 週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

### 記事の投稿に関する注意点

- ・配信日（原則火曜日）から2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。  
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321 「週間情報」担当：企画課 浅倉  
原稿データは、[weekly@fcaj.gr.jp](mailto:weekly@fcaj.gr.jp)に送信願います。